WIENER PHILHARMONIKER IN JAPAN

ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン 2023

第41回 名古屋クラシックフェスティバル

大和ハウス Special

フランツ・ウェルザー=メスト 指揮
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

WIENER PHILHARMONIKER WEEK IN JAPAN 2023

Daiwa House Special

FRANZ WELSER-MÖST Conducts WIENER PHILHARMONIKER

ニーチェの言葉です—
「音楽のない人生は間違いだろう」
ウェルザー=メスト（2023年ニューイヤー・コンサートにて）

2023年11月10日(金) 18:45開演(18:00開場)
Friday, November 10 at 18:45

ベートーヴェン：交響曲第4番 変ロ長調 作品60

ブラームス：交響曲第1番 ハ短調 作品68

Ludwig van Beethoven: Symphony No. 4 in B-flat Major, Op. 60
Johannes Brahms: Symphony No. 1 in C Minor, Op. 68

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater, Concert hall

S席 ¥42,000　A席 ¥36,000　B席 ¥30,000
C席 ¥25,000　D席 ¥19,000　E席 ¥12,000
学生券 ¥3,000　全席指定・税込

学生券 26歳以下／学生証提示
中京テレビクリエイションHPよりエントリー後抽選。詳しくは https://cte.jp/gakusei/ をご覧ください。
［一般席と並びでご購入されたい場合］公演1ヶ月前に残席がある場合に限り、並びでご予約いただけます。
詳しくは中京テレビクリエイションまでお問い合わせください。

一般発売：6月2日(金) 11:00～

チケット取扱い
Chuチケ TEL:052-308-8282（平日11:00～17:00） https://cte.jp/41cf/
チケットぴあ［Pコード：240-452］ https://t.pia.jp/
芸文プレイガイド 052-972-0430

お問合せ 中京テレビクリエイション TEL:052-588-4477（平日11:00～17:00）

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。
※都合により、出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
最新情報はホームページでお知らせします。

【主催】CHUKYO TV　【特別協賛】大和ハウス工業株式会社

【後援】オーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム東京　【Tour Sponsor】ROLEX

2年ぶりの開催となる「ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン」。
今年は、自らに「ウィーン音楽の血が流れている」と語る指揮者フランツ・ウェルザー＝メストが登場します。
ウィーン・フィルとは特別な友情でむすばれ、3度目の出演となった2023年1月のニューイヤー・コンサートでは、14曲が同コンサート初演奏という意欲的なプログラムを展開。音楽ファンの大きな注目を集めたコンサートを見事にまとめ上げ、「ニューイヤー・コンサート史上最高の公演の一つ」と絶賛されました。
指揮者としてのカリスマ性をもちながらも、まるでウィーン・フィルのメンバーであるかのような一体感と親和性を感じさせるウェルザー＝メスト。
世界の人々を魅了する息の合った至高の演奏をお楽しみください。

©Lois Lammerhuber

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ほど、西洋音楽の歴史と伝統に深く関わっているオーケストラはないだろう。
その魅力は、世代を超えて慎重に継承されてきた均質な音楽スタイルの意識的な維持、および独特な歴史と組織形態に基づいている。
今日でも変わらぬ「ウィーン・フィルの理念」の支柱は、芸術的・組織的な意思決定の過程すべてをオーケストラのメンバー自身の手に委ねる民主的な組織であること、そしてウィーン国立歌劇場管弦楽団との密な共生である。
日本や日本の聴衆との関係は非常に密接で、パンデミックの起こった2020年でさえ、大規模なセキュリティ対策とツアー期間中の検疫を実施した上で日本公演が行われた。パンデミックの発生以来、ウィーン・フィルは試験や研究を通して主導的な役割を果たし、最初のロックダウン後の20年6月には、世界に先駆けて生の聴衆のためのコンサートを行った。
同楽団は、音楽の人道的なメッセージを聴衆の日常生活や意識の中に伝えることを使命としている。

© Wiener Philharmoniker / Dieter Nagl

フランツ・ウェルザー＝メスト

フランツ・ウェルザー＝メストは、21年間、クリーヴランド管弦楽団の音楽監督として確かな音色の文化を形作ってきた。客演指揮者としては、特にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と緊密で充実した関係を築いており、ウィーン楽友協会での定期演奏会のほか、ヨーロッパ、日本、中国、アメリカでの公演でも度々指揮をしている。また、サラエボやヴェルサイユでの歴史的な記念コンサートでも共演を果たしている。これまでに同楽団のニューイヤー・コンサートの舞台に3度（2011年、13年、23年）立っているが、23年のコンサートは批評家や聴衆からコンサート史上最高のものの一つとして絶賛された。
ザルツブルク音楽祭にも度々招致されており、最近では『ルサルカ』、『ばらの騎士』、『フィデリオ』、『サロメ』などで、オペラ指揮者として解釈における新しい基準を打ち出している。20年には創立100周年を迎えたザルツブルク音楽祭で『エレクトラ』を指揮し、同音楽祭からルビー・ブローチが贈られた。
ウィーン楽友協会の名誉会員であり、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団からは名誉の指輪が贈られた。

© Wiener Philharmoniker / Dieter Nagl